

令和6年第5回臨時会

歌志内市議会会議録

第1日目（令和6年11月11日）

○議長（本田加津子君） おはようございます。

開会に先立ちまして、柴田市長より御挨拶の申し出がありますので、お受けしたいと思えます。

柴田市長、御登壇願います。

市長挨拶

○市長（柴田一孔君） ー登壇ー

おはようございます。

本日、ここに第5回臨時会を招集申し上げましたところ、議員の皆様には大変御多用のところ御参集をくださいます、御案内の案件につきまして御審議いただきますことに、心から感謝申し上げます。

今回御審議いただきます案件に先立ちまして、就任後、最初の議会でございますので、貴重なお時間を拝借いたしまして一言御挨拶申し上げたいと思えます。

私は、このたびの市長選挙におきまして、無投票当選の栄に浴し、10月26日に市長に就任いたしました。本日議場において市政を担当する市長として、議員の皆様には御挨拶できますことを誠に光栄に存じておりますとともに、市民の皆様が住んでいてよかったと、喜んでもらえるまちの市長として果たすべき責任の重さを痛感しております、身の引き締まる思いでございます。

市長として市民の皆様と約束いたしました公約を進めていくことも重要であります、市議会の皆様とともに議論をして、この歌志内が本当に住んでよかったと言ってもらえることが何よりも大切なことだと思っております。

私はまず最初に、持続可能な産業の創出を掲げました。本市の基幹産業である石炭産業は、明治24年に始まり現在も露頭掘りとして石炭を採掘しておりますが、砂川火力発電所は国が非効率な発電所を段階的に廃止する方針に対応するため、令和9年3月をもって廃止することになっております。これにより、歌志内からの石炭の納炭は終了する予定でございます。

私は日本の産業を支えた石炭産業が、広大な露頭跡地を残し歌志内市から姿を消すのではなく、新たなエネルギー産業として再生可能エネルギーへと形を変えてつなげられるよう、土地所有者である空知炭礦株式会社とともに、実現に向けて取り組んでまいります。この取り組みが関連産業の誘致となれば、今後の歌志内の新たな産業創出にもつながるものと考えられます。これらの実現に当たっては、議員の皆様のお力添えをいただきながら、進めていきたいというふうに考えております。

また、市民の健康を守り抜くために、酷暑対策や子育て支援、そして人口減少、定住・移住対策にも引き続き既存支援策も含め、現状を把握しながら必要な対応を検討してまいりたいと

考えております。

商工業や観光産業の振興についても、商工会議所の意見を聞きながら、商工業や観光産業の事業が継承されるよう支援していきたいと考えております。

また、芸術、文化につきましては、地域の魅力ある芸術活動を支援し観光産業と連携した街づくりとなるよう、議員の皆様や市民の皆様の御意見をいただきながら進めてまいりたいと考えております。

そして、令和8年度は、第7次総合計画の策定やデジタル田園都市国家構想総合戦略の策定があり、本格的には来年度からの準備となりますが、職員の総力を結集して進めてまいりたいと考えております。

高齢者が多い本市であります。地域ケアシステムの機能を最大限に発揮し、保護、保険、医療、福祉の一体的なサービスの提供ができるよう、住んでいてよかったと思える街づくりを進めてまいりたいと考えております。

結びに、改めて市民並びに議員の皆様におかれましては、御理解と御協力を賜りますよう心からお願いを申し上げます。就任に当たっての挨拶に代えさせていただきます。

どうぞよろしく願いいたします。

(午前10時03分 開会)

開 会 ・ 開 議 宣 告

○議長（本田加津子君） ただいまから、令和6年歌志内市議会第5回臨時会を開会いたします。

ただいま出席している議員は8名であります。定足数を満たしておりますので、これより本日の会議を開きます。

会議録署名議員の指名

○議長（本田加津子君） 日程第1 会議録署名議員の指名を行います。

会議録署名議員は議長において、4番松井敬道さん、7番下山則義さんを指名いたします。

会 期 の 決 定

○議長（本田加津子君） 日程第2 会期の決定を議題といたします。

お諮りいたします。

今臨時会の会期を本日1日間としたいと思います。

これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（本田加津子君） 御異議なしと認めます。

会期は本日1日間と決定いたしました。

諸 般 報 告

○議長（本田加津子君） 日程第3 諸般報告であります。

事務局長から報告をいたします。

三浦議会事務局長。

○議会事務局長（三浦悟君） 報告いたします。

この臨時会に付議されます議案は、市長より送付を受けた議案1件、報告1件であります。

次に、議長の報告でございますが、令和6年第4回臨時会以降、昨日までの議会動向につきましては、本日別紙配付しております諸般報告のとおりでありますので、御了承願います。

また、本会議に説明のため出席する者、本会議の事務に従事する者等につきましては、別記記載のとおりであります。

本日の議事日程については、別紙配付してあります議事日程表のとおりであります。

次に、議員の出欠席の状況であります。今日は全員の出席であります。

以上で、報告を終わります。

○議長（本田加津子君） 特段の発言はございますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（本田加津子君） ないようでありますので、諸般報告を終わります。

市 政 報 告

○議長（本田加津子君） 日程第4 市政報告であります。

一般行政について報告を求めます。

柴田市長。

○市長（柴田一孔君） ー登壇ー

件名、交通事故死ゼロ5000日達成について。

平成23年2月8日に、歌神市街の道道において死亡事故が発生して以来、今日まで悲惨な交通事故死の絶無を願い関係機関、関係団体の御協力や御指導の下、全市民一丸となって交通事故撲滅運動を展開してまいりました。これまでの取組により、交通事故死ゼロの継続日数が、去る10月17日に一つの目標としていた5000日を達成することができました。

この数字は、現在の北海道内の市では最長記録となっております。これは常日頃から、市民一人一人の交通安全運動に対する地道な活動の成果と思う次第であります。

この5000日達成を記念して、交通事故死ゼロ5000日達成記念市民集会を、来る12月19日コミュニティセンターうたみんにおいて開催する予定であります。この市民集会には、北海道警察音楽隊、並びにカラーガード隊の参加も予定されております。

以上でございます。

○議長（本田加津子君） これより、質疑に入ります。

質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（本田加津子君） 質疑なしと認め、質疑を終わります。

以上で市政報告を終わります。

報 告 第 1 6 号

○議長（本田加津子君） 日程第5 報告第16号専決処分の承認を求めることについてを議

題といたします。

提案理由の説明を求めます。

金谷企画財政課長

○企画財政課長（金谷恵一君）　－登壇－

専決処分の承認について御報告いたします。

報告第16号専決処分の承認を求めることについて。

地方自治法第179条第1項の規定によって、別紙のとおり専決処分したので、同条第3項の規定により、これを報告し、承認を求めるものでございます。

専決処分の理由は、令和6年10月9日の衆議院解散により、同年10月27日に衆議院議員総選挙が執行されることになりました。

このため、予算補正を要することになりましたが、議会を招集する時間的余裕がないと認められたため、専決処分したものでございます。

次ページをお開き願います。

専決処分書。

地方自治法第179条第1項の規定により、議会を招集する時間的余裕がないと認められるので、別記のとおり専決処分する。

1、令和6年度歌志内市一般会計補正予算（第6号）。

次ページをお開き願います。

令和6年度歌志内市一般会計補正予算（第6号）。

令和6年度歌志内市一般会計補正予算（第6号）は、次に定めるところによる。

（歳入歳出予算の補正）。

第1条、歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ706万円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ48億7,615万7,000円とする。第2項は省略いたします。

続きまして、補正予算事項別明細書の歳出について御説明いたしますので、5ページをお開き願います。

2款総務費4項選挙費3目衆議院議員選挙費1節報酬46万3,000円の増額補正は、投・開票立会人及び管理者報酬で、3節職員手当等107万7,000円の増額補正は、選挙事務従事者に係る時間外勤務手当であります。7節報償費165万6,000円の増額補正は、選挙事務従事者報償金で、8節旅費6万7,000円の増額補正は、選挙管理委員、投票及び開票管理者、立会人などの費用弁償であります。10節需用費42万6,000円の増額補正は、事務用品等消耗品が39万3,000円、お茶等食料費が2万5,000円、衆議選比例代表に係る記載台用指名掲示等印刷製本費が8,000円であります。11節役務費51万5,000円の増額補正は、郵便及び電話料が25万2,000円、選挙関係機器の調整や、選挙公報等配布に係る手数料が26万3,000円であります。12節委託料251万9,000円の増額補正は、ポスター掲示板設置委託料等で、13節使用料及び賃借料5万6,000円の増額補正は、投票所施設等の借上料、17節備品購入費28万1,000円の増額補正は、選挙事務用パソコンに係る備品購入費であります。

続きまして、事項別明細書の歳入について御説明いたしますので、3ページをお開き願います。

15款道支出金3項道委託金1目総務費委託金3節衆議院議員選挙費委託金706万円の増額補正は、衆議院議員総選挙の執行に係る委託金であります。

以上で、報告第16号専決処分の承認を求めることについての説明を終わりますので、よろ

しくお願いいたします。

○議長（本田加津子君） これより、質疑に入ります。

質疑ありませんか。

女鹿聡さん。

○6番（女鹿聡君） 今回の衆議院選挙なのですけれども、かなり早い段階でいきなり決まって、大変だったと思うのですよね。選管の方々、関わった職員の方々に本当に頭を下げる次第であります。

ただ、全国的に見ても今回の選挙の投票率というのはかなり低かったと。歌志内でも、そんなに伸びていないんじゃないかなと思うのです。歌志内だけで言うと、毎回の選挙ごとに少しずつ投票率が下がってきているように思います。来年の7か月、8か月後ぐらいには参議院選挙は決まっていますけれども、投票率を上げるという方法を考えていかないと、高齢者が多くなってきて行けないという方々も多くいらっしゃるんじゃないかなと思うのです。期日前のやり方だとか当日の投票所のあり方だとか、そういったことも今後、来年に向けて考え方っていうのもやっていかないと駄目なのかなと思うのですけど、決算予算の委員会の度に総務課の課長には答弁を貰っているのですけれども、今回こういう形で結果も出ていますのでもう一回答弁をいただきたいと思います。

○議長（本田加津子君） 北風総務課長。

○総務課長（北風是紀君） 今回の衆議院の総選挙で歌志内市の投票率としまして、小選挙区なのですけれども、約6ポイントぐらい下がっております。それはもう結果で出ておりますので、選挙の期間が短かったとか、そういう理由もあるんですけれども、やはり年々少しずつ下がってきているような分析ではおります。

よく近隣ですとか全国的に投票率を上げるために、議員おっしゃったような期日前のやり方ですとか、あとは例えば移動のバスだとか、いろいろなものが情報として出ておりますので、何かうちに合うようなものはないのかなとは考えてはいるところです。

それで、来年の7月に参議院の選挙が予定されておりますので、そこに向けて何かできることがあればというところになるのです。

例えば、かなり有権者の方が少ない投票区などがあるものですから、果たしてそのままいいのかという議論もしていかなければなりません。場合によっては、投票区の方々との話し合いの結果にもなるのですけれども、投票区を一つにまとめるだとか、そういうのは今度まとめたらその間の不便になるものをどうしようかということも話し合わなければなりません。それは年内に大体お話し合いをして、実際に動くときには恐らく年度内の一定の方向性を持ってあらかたの考えが決まれば、また議員の皆さまに、例えば行政常任委員会等で参議院の選挙に向けた取り扱いをお示しをして、意見を聞きながら進めていきたいとは考えております。

以上でございます。

○議長（本田加津子君） 他に質疑ありませんか。

川野敏夫さん。

○5番（川野敏夫君） 今の投票率を上げたいという気持ちは十分分かるのですけれども、投票しやすい格好を作るというのも、具体的に今ちょっと言葉に出てましたけれども期日前の移動式投票所ですとか、ないしはここに出ている報酬だとか時間外手当てに関してはね、もう大体、大方他の地域でやってるんですけれども、投票の時間を繰り上げる。恐らく6時過ぎたら1人も来ないよという投票所もあると思うのです。その辺の現状を把握して投票しやすいような格好に、今言うように来年の7月までに間に合うような対策をしてもらいたいと思いますの

で、よろしくお願ひします。答弁はよろしいです。

○議長（本田加津子君） 他に質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（本田加津子君） 質疑なしと認め、質疑を終わります。

これより、討論に入ります。

討論ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（本田加津子君） 討論なしと認め、討論を終わります。

これより、報告第16号について採決をいたします。

この件について、報告のとおり承認することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（本田加津子君） 御異議なしと認めます。

したがって、報告第16号は、報告のとおり承認されました。

議案第40号

○議長（本田加津子君） 日程第6 議案第40号副市長の選任についてを議題といたします。

提案理由の説明を求めます。

柴田市長。

○市長（柴田一孔君） ー登壇ー

議案第40号副市長の選任について御提案申し上げます。

下記の者を副市長に選任したいので、地方自治法第162条の規定により議会の同意を求めらるるものでございます。

記。

住所、歌志内市字本町49番地1。

氏名、東所勝則。

生年月日、昭和42年4月20日。

提案理由は、副市長として新たに東所勝則氏を選任しようとするものでございます。任期は4年間でございます。

次のページをお開き願ひします。

東所勝則氏の略歴でございます。

本籍地、富良野市字扇山911番地。

現住所、歌志内市字本町49番地1。

学歴、昭和63年3月、専修大学北海道短期大学農業機械科卒業。

職歴、昭和63年4月、歌志内市に奉職。

平成29年4月、企画財政課主幹。

令和3年4月、企画財政課長。

令和6年4月から、産業課長として現在に至っております。

以上でございますので、御同意賜りますようお願い申し上げます。

○議長（本田加津子君） これより、質疑に入ります。

質疑ありませんか。

女鹿聡さん。

○6番(女鹿聡君) 今回の副市長に選任ということなのですが、これがもし可決された場合ですね、産業課の課長が不在になるのかなと思うのですが、その辺の今後の人事だとかに関わっているいろんな話し合いが持たれて産業課の課長のポストになる人を決めていくと思うのですが、その辺今後どのような考えがあるのか聞いておきたいと思います。

○議長(本田加津子君) 柴田市長。

○市長(柴田一孔君) この度産業課長であります東所課長につきましては、来年3月いっぱいまで事務取扱いという形で対応をしていきたいというふうに思っておりまして、その後は担当課長を配置して進めていきたいというふうに思っております。

○議長(本田加津子君) 女鹿聡さん。

○6番(女鹿聡君) とりあえず、来年の3月までは課長のポストは東所さんにやってもらうという形で、その後は新しく人事で決めていくと。

その中で、来年4月以降は新しい方が多分なると思うのですが、それまでの間にいろんな形で多分、庁舎内で全体的に話をして誰が適任だという話をしていかないと駄目だと思うのですが、それはどの時点から動き出して4月に決定するという形で考えているのか、もう一回聞いておきたいと思います。

○議長(本田加津子君) 柴田市長。

○市長(柴田一孔君) それはちょっと人事の関係でございますが、今説明した繰り返しになりますけれども、しっかりと4月1日にはそういう対応をしていきたいというふうに思っております。

○議長(本田加津子君) 他に質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長(本田加津子君) 質疑なしと認め、質疑を終わります。

これより、討論に入ります。

討論ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長(本田加津子君) 討論なしと認め、討論を終わります。

これより、議案第40号について採決をいたします。

ただ今の議案については、原案のとおり同意することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長(本田加津子君) 御異議なしと認めます。

したがって、議案第40号は、これに同意することに決しました。

ここで、暫時休憩いたします。

午前10時25分 休憩

○議長(本田加津子君) ここで、ただいま副市長に選任同意されました東所産業課長より御挨拶を受けたいと思います。

東所課長、御登壇願います。

○産業課長(東所勝則君) ー登壇ー

改めまして、おはようございます。

本日、このような御挨拶の機会をいただきまして、議長をはじめ議員の皆様方にまずもって厚くお礼申し上げます。貴重なお時間をいただきまして、一言御挨拶申し上げます。

議員の方々には、本臨時会におきまして私の副市長選任に御同意を賜り、身に余る光栄であり心より感謝を申し上げます。

同時に、本市が現在抱えている人口減少、少子高齢化、地域経済の活性化や教育振興など多くの課題に向き合うことを考えたとき、その職責の重さ、大きさに身の引き締まる思いでございます。

もとより、まだまだ知識や経験が未熟な私ではございますが、これまで市職員として携わってきた行政経験を最大限に生かし、今後も議員の皆様方の御指導をいただきながら柴田市長を補佐し、そして職員と力を合わせて市民に親しまれる、風通しの良い市役所づくりと基本構想、基本理念であります、みんなで創る笑顔あふれるまちの実現に向け、微力ではありますが精神誠意、全力を尽くしてまいる所存であります。

どうか、議員の皆様方におかれましては、より一層の御指導、御鞭撻を賜りますよう、心よりお願い申し上げます、御挨拶とさせていただきます。

どうぞよろしくお願いたします。

○議長（本田加津子君） ありがとうございます。

以上で副市選任同意の御挨拶を終わります。

午前10時28分 再開

○議長（本田加津子君） 休憩を解いて会議を再開いたします。

閉 会 宣 告

○議長（本田加津子君） 以上で本日の日程は全部終わりました。

これをもちまして令和6年歌志内市議会第5回臨時会を閉会いたします。

御苦労さまでした。

（午前10時29分 閉会）

上記会議の顛末を記録し、その相違ないことを証するため、
ここに署名する。

歌志内市議会議長 本 田 加 津 子

署名議員 松 井 敬 道

署名議員 下 山 則 義